



## Prelego: La naskiĝo de Hangulo kaj la intelekta revolucio

### 講演: ハングルの誕生と知的革命

28 日(金)15:30 から、韓国語の専門家で言語学者の明治学院大学の野間秀樹客員教授からエスペラントによる講演がありました。野間教授は韓国語の興味深い色々な著作を出版しています。『ハングルの誕生』という新書は面白いと思いました。札幌でも数か月前に日本語で似たような講演がありました。エスペラントでも講演するとは思わなかったの、驚きました。

エスペラント監修は北川久氏が全面的に行い、講演会前日、偶然ホテルで出会った東北大学のエスペランチストである後藤齊氏も最後のチェック作業に 1-2 時間ほど加わったそうです。今年の 3 月に北川郁子氏が UK で野間教授に講演するようにお願いし、北川久氏が講演原稿の作成に全面協力をすることを条件に承諾したそうです。「特別講演」が決まって以来、何度もメールのやり取りや電話等で打ち合わせをし、7 月には、北川氏の家の方までいらっやって、長年使っていないエスペラント会話のリハビリのため、「エスペラント特訓講座」なども行いました。そして綿密な仕上げを追求する 2 人のコラボは UK 直前まで続きました。野間教授は、UK での講演という形でエスペラント界に久々に「復帰」できたことを、とても喜んでいらして、先生の著書をエスペラント訳で出版できないか、という話も出ているそうです。私もそれが出版したら、是非購入したいと考えています。

Kongresa libro (大会プログラム)には、この講演の説明の冒頭に以下のようなことが書かれていました。

Kiam nova skribo naskiĝas, kion ĝi sekve aoportas al la koncerna socio? Kiel la “skriba lingvo” evoluas? Kiel la homa intelekto transformiĝas? Kaj kiel ĉio tio influas la homan vivon?

新しい表記体系が生まれる時、続けて関係する社会に何をもたらすだろうか? 「書き言葉」がどのように発展するだろうか? 人間の知性はどのように変わるだろうか? そしてこのすべてのことが人間の生活にどのように影響するだろうか?